

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0590
施設名	昭島ゆりかご第二保育園
施設所在地	昭島市田中町3-5-20
法人名	社会福祉法人ゆりかご会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

普段の生活の中で聞こえる音に気づき、いろいろな音を楽しんでほしいため

2. 活動スケジュール

・雨の日の雨音に気付く。

園庭の滑り台に物を転がしてみる。

散歩へ行き、歩きながら聞こえる音を感じる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備した素材】 特になし

【環境設定】

・雨の日、子どもたちに雨があたらない屋根のあるテラスにすぐに出れるようにしておく。

・タイミングをみて散歩に出られる日にスムーズにいけるように散歩コースなど危険がないか見ておく。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 雨の日にテラスにでて雨音が聞こえるか耳を澄ませて聞いてみた。
- ・ 散歩にて自然の中で聞こえる音に耳を傾けてみた。 ・ 園庭遊びの際に滑り台に玩具を転がして音の違いを感じた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

<雨の日>

テラスに出ると「雨が降ってる」と言いながら雨が降る音を聞いてみた。子どもたちは耳を傾けながら「ポタポタ水が落ちてる」や「ポツンポツンきこえる」等雨音を楽しんでいた。

<園庭遊び>

滑り台に小さい玩具と大き目の玩具を転がし、転がる音を楽しんだ。小さい玩具を転がした時は「カラカラ聞こえる」と言っていた。大きめの玩具を転がしたときは「ガタガタだ」と言って楽しんでいた。

<お散歩>歩きながら自然の中から聞こえる音に耳を傾けた。川の水が流れる音。風によって葉っぱが揺れる音。落ち葉を踏んだ時の音。カラスの鳴き声。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・ 普段何気なく聞こえていた音も気にかけながら聞くと子どもたちも興味を示し、聞こえてきた音を言葉で表現し楽しめていた。まだまだ言葉が未熟と思っていたがきちんと聞こえた音を言葉で表現しみんなに伝えることができていた。園庭で遊ぶ、散歩コースを歩く等そのことだけを楽しんでいたが、音に耳を傾けてみようといとこと付け加えるだけで子どもたちの楽しみ方が変わることに気づくことができた。